



ヴォックス音楽吟詠会

# 会員ニュース

62号

発行 平成27年3月1日  
ヴォックス音楽吟詠会  
広報委員会

## 第五回 定時総会



平成26年3月18日 第五回 定時総会  
ホテルメトロポリタン高崎  
群馬地区担当



名古屋城と桜



10月12日(日)名古屋市教育センターホールにて  
第三十五回全国吟詠コンクール決勝大会が開催されました。  
全国の地区本部大会を勝ち抜いた117名8組(第六部)の吟  
者が気迫の吟詠を披露しました。

文部科学大臣賞は、福井幸子さん(第三部：播磨地区代  
表)が見事受賞しました。





草薙会長46才フランスニース市公演(写真左)  
写真右は故・田宮流妻木正麟宗家

会員の皆様には新年を(羊年)、お健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は御嶽山噴火、さらには長野県が大地震に見舞われ、誠に痛ましい限りです。一日も早く復興されますことを願わずにはいられません。

さて、平成25年3月14日西中国本田天水本部長のお世話で国際観光ホテルでの総会に於いて、私が三代目会長をお引き受けして、三年目の春を迎えさせていただきました。

この間会報の継承刷新、CD配布方法、会員ホームページの存続、会組織の改革等に取り組んでまいりました。

ヴォックスはギリシャ語で王冠の飾りで、声の王様でございます。

南雲先生が掲げられました「束縛のない流派のもつ素晴らしい音楽吟詠」が本会の目指す吟詠道でございます。

創立以来中国、アメリカ、フランスなど海外公演の実績により、第五回大会よりレコード吟詠界快挙の『文部科学大臣賞』が授与されているのはご承知の通りでございます。

後になりましたが、石の上にも三年と申します、正に本年は私会長の正念場と存じます。

11月1日に35周年の節目として1900年の三種の神器草薙剣を奉る歴史ある熱田神宮の神宮会館の舞台で全国名流大会を開催させていただくことに相なりました。

ここ熱田神宮にヴォックス会員が集結し、流石ヴォックスと評価される大会を実施致したく、是非とも会員一同のご理解とご協力をお願い申し上げます、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

『竿させど 底ひも知らぬ わだずみの  
深き心を 君に見るかな』



## 事務総長のご挨拶 小芝 誠範



山口県岩国市にての総会において、事務局総長に任命されて以来、ヴォックス音楽吟詠会の存続・発展に力を添いでまいりましたが、会員の皆様方の「ヴォックス音楽吟詠会」に対する思いに充分応えられたかと反省しております。

さて本年は総会を播磨地区にて開催となっており、姫路城の改修後にしたとしても考えましたが、さまざまなことを考慮いたしますと、やはり3月20日までに済ませたいとの思いを拭い去ることはできませんでした。

また吟詠全国決勝大会は、9月27日に中部地区にて開催いたします。

そして、名流大会(5年に1度の会員の祭典)は、11月1日に名古屋市の熱田神宮内、神宮会館にて開催すべく、諸準備に入っております。

多忙な年となることと思いますが、南雲先生の信条を念頭に置き、草薙会長の下、進んでまいりたいと考えております。

今後とも、会員諸兄のかわらぬご支援、ご理解を賜りたく存じます。どうかよろしく願い申し上げます。



ヴォックス音楽吟詠会 創立35周年記念 名流大会のお知らせ  
開催日時 平成27年11月1日(日)午前10時～  
場所 熱田神宮会館(熱田神宮内)  
〒456-8585 名古屋市熱田区神宮一丁目1番1号  
名鉄「神宮前」徒歩3分 TEL(052)671-0010

## 近畿地区本部長に就任して 浜田 天翠

前近畿地区本部長である岡田岳龍先生のご勇退に伴い、平成26年6月1日、臨時総会に於いて、近畿地区本部長に就任させて頂く事となりました。

「光陰矢のごとし、歳月人を待たず」と申しますが、両親の影響で詩吟を習い始めて、早や37年、吟の奥深さを痛感する日々でございます。

ヴォックス音楽吟詠会にお世話になりまして、23年余り、その間コンクールに出吟し、夢に向かって挑戦し続けて、やっと夢が現実になった時の感動は、今でも忘れる事が出来ません。南雲先生とご一緒しました、フランス、エビアンでの公演等、色々と懐かしく思い出されます。

この度、予想もしていなかった地区本部長という大役に戸惑いを覚えると共に、務めることが出来るのか、重責と不安に押しつぶされそうになりますが、近畿地区本部の先生方のお力をお借りして、「希望を持たば精神は朽ちない」の言葉を胸に精進してまいり所存でございます。

諸先生方、皆様方、今後共より一層のご指導ご鞭撻賜ります様、よろしく願い申し上げます。



編集者註:浜田天翠先生は平成19年第二十八回全国決勝大会において、第四部で優勝されています。



**第一部優勝**  
牧 紅葉さん  
(中部地区代表)



**「始まったばかり」**

友達によく聞かれます。「詩吟ってなに？ 渋そう」と。しかし、私はそうは思いません。

私は詩吟を習う前から日本文化が好きでした。ですが、詩吟を習うようになってから、漢文から伝わる、日本の四季の素晴らしさなど日本の事が、そして詩吟も益々好きになるようになりました。

この素晴らしい日本文化の中の1つである「詩吟」という枠で今回優勝できたのは、先生、教室の大先輩の方々のおかげです。私はとても幸せです。

しかし、ここで終わるわけではありません。後世に残せるような吟を詠えるように、これからも勉強し頑張っていきたいと思います。

**「日々精進を」**

母が国壮流の会員だったため生まれた時から耳にし、4歳からやってきた詩吟ですが、今でも舞台上で吟をする時は緊張してしまいます。

子供の頃は大きな声で元気よく吟詠をする事が楽しく感じられましたが、張りのある声がすこしずつ声変わりしてきてからは、声の大きさだけではなく、自分なりに詩情も意識するようになってきました。力強く吟じる事はもちろん、詩の持つ世界を自分なりに表現できれば・・・と考えています。

知れば知るほど奥の深い「詩吟」ですが、残念なことに私のまわりにはあまり知っている人がいません。

少しでも多くの人に詩吟を知ってもらうためにも、緊張しても舞台上で吟をしていこうと日々精進していくつもりです。

**第二部優勝**  
柴崎 めぐみさん  
(群馬地区代表)



**第三部優勝**  
(文部科学大臣賞)  
**福井 幸子さん**  
(播磨地区代表)



**「先生に続けた！」**

「文部科学大臣賞は111番播磨地区代表福井幸子さん！」耳をうたがって一緒に来ていた主人に「私？」って聞いていました。

故大崎邦子先生が第四部で優勝され、翌年から団体・個人と参加させていただき、第二十八回大会第六部で優勝、でもその優勝を先生に聞いていただくことは、出来ませんでした。

その年の1月に先生は命の灯を消されていました。いつか先生の優勝された吟、「山行同志に示す」で、私も優勝できればと、初吟会にはいつもこの吟を吟じてきました。

今年の吟題の中にこの詩を見つけた時は、頑張ってお稽古をしよう、出来れば、よい成績にと、先生に続きたい一心で頑張ることが出来ました。

故大崎先生の残されたお言葉に、「人生は生き方次第でどのようにでもなる。意欲があれば、絶えず精神的な緊張を持続させることが出来、それが良い結果に結びつく。良い趣味を持ち、心に余裕を持ち、楽しい人生をすごしましょう。」

先生は大空の上で私の吟を聴いてくださっていると思います。播磨地区の役員の方には大変お世話になり、ありがとうございました。

今後も私と同じ喜びを1人でも多くの方に体験していただける様、日々指導に精進したいと思います。

「いまから、ここから」亡き大崎先生の大好きな言葉の1つです。常にこの言葉を忘れることなく、頑張ります。

この度は本当にありがとうございました。

**「温かい激励の言葉に感謝」**

昨年の大阪大会に続き2度目の挑戦、今年は地元名古屋での全国大会という事で、「緊張・不安」そして少々の「安心感」という複雑な気持ちを抱いての出場でした。

当日、午前中の出場順で早目に発声練習をするも納得出来ず、不安倍増、しかしながらそんな中で、いろいろな方に暖かい激励の言葉を掛けて頂いたりして、本当に心強く、又気負わず本番に臨むことが出来ました。

今自分が出来得る精一杯吟じ、後は結果を待つのみ……。そして思いがけなく優勝と名前を呼ばれた瞬間、うれしさよりも、本当に私で良いのかと新たな不安を感じました。この大きな榮譽を頂くにあたっては、吟指導はもちろん適切な助言をして頂いた先生方、諸先輩の皆様に深く感謝申し上げます。本当に有難うございました。今後もより一層吟力向上に努力精進致す所存です。

編集者註：安達堇さんは平成27年度より正会員になりました。

**第四部優勝**  
**安達 堇さん**  
(中部地区代表)



### 「詩吟の心につれて」

#### 第五部優勝 上條 正隆さん (信越地区代表)



この度平成26年第三十五回全国吟詠コンクール決勝大会、第五部において優勝するとは夢にも思いませんでした。

第五部エントリーナンバー104番、信越地区代表、上條正隆さん、と読み上げられた時は耳を疑いました。一瞬嬉しさより驚きの方が先に立って居ました。

吟を始めたのは、20歳の時からでした。幾人かの先生方に恵まれて、吟道の道に導かれて、心の有る詩の内容を声に出して吟じる、それにはアクセント、強弱、緩急を付ける、そして人前で吟じるには300回は練習しなさいと言われてきました。

何回も何回も壁にぶつかり、そのたびに吟の奥深さを知らされました。詩吟の魅力に取付かれて、様々なコンクールに出ました。ヴォックスの決勝大会は、東京・名古屋・大阪・長野と出場するたびに、篩い落とされて来ました。ようやく五部に来て1位の座を獲得する事ができました。

これまで私を指導して下さいました、先生方や先輩の皆さんによりやく恩返しが出来たと思います。何と申しましても家族の理解が有って詩吟の会に出かけられた事が、全国決勝大会に繋がったのだと思います。

本当にありがとうございました。

編集者註：上條正隆さんは平成27年度より正会員になりました。

### 「若さで優勝できました」

年齢は、下が22歳、上が52歳、平均年齢38歳です。

職業は越谷綾乃と小林亜由美が看護師、越谷桂子、後藤陽子、諸田緑の3人が介護士で全員、医療従事者です。

練習は、国壮流荘孝会会長小野里荘孝先生の道場で実施しております。マイクも5本揃っていますので十分な発声訓練ができます。

服装は色なども全員で相談して決めました。平均年齢38歳は吟詠界では若い方なので、思う存分発声する事が成功しました。

#### 第六部優勝

越谷 桂子 さん  
越谷 綾乃 さん  
後藤 陽子 さん  
諸田 緑 さん  
小林 亜由美さん  
(群馬地区代表)



平成26年度  
第三十五回

# 全国決勝大会が開催されました

平成26年10月12日(日)  
名古屋市教育センターホール  
(中部地区担当)



選手の気迫あふれる吟詠



伴奏の先生方  
本当にありがとうございました。



優勝者に贈られるトロフィーと  
盾。一体誰の手に！



左から中山国洲先生と  
草薙典龍先生



左から浜田天翠先生、  
柚木荘香先生、香椎里水先生



左から山室瑞山先生と  
嶮本賀求道先生



「ヴォックスの詩」大合吟



受付の方々  
本当にごくろうさまでした



進行係 真剣です





母君ぼくんの 羈絆きはん 正まさに 駕えんおう鴛う  
 殿堂でんどう 池苑ちえん 洒落しやらくにして 靜しずかなり  
 鳶とびは 飛とび 魚うおは 躍おどる 史跡しせき 芳かんばし  
 西にしに 疊じよう嶂しやうを 望のぞむ 千曲ちくまの 邊ほとり  
 西望にしぼう 疊嶂じようしやう 邊ほとり 千曲ちくま 史跡しせき 芳かんばし  
 魚躍ぎよく 駕か 羈絆きはん 正まさ 駕えんおう 鴛う

## 『訓読』

平成二十五年癸巳十二月七日 (清風)

片倉清彭作

## 『漢詩』

訪國指定史跡之松代眞田邸 (下平声七陽韻)

〔語釈〕  
 疊嶂—重なり連なる山。  
 北アルプス連峰。  
 千曲—千曲川。  
 母君—義母と君主。  
 羈絆—きずな。

雑記…長野県吟道連盟正副理事長・執行部会議が今年は千曲川の流れる歴史の町、長野市松代に於いて開催されました。毎年恒例としてその土地の名所旧跡を訪ねる研修会が行なわれますが、これも吟道連盟としての絆が一層強く結ばれる催しの一つであると同時に楽しい一日としての意義深いものを感じるものでもあります。

北アルプス連峰も白雪皚皚として輝き朝晩の気温も益々低く正に霜寒の様相を呈して参りました。

時間の都合で真田宝物館と真田邸を見学し、車窓にて松代城国史跡を見学しました。

宝物館は伝来の古文書や武具、茶器、婚礼道具 等を展示された館ですが、新御殿と呼ばれる真田邸は文久2年(1862)参勤交代の制度が緩和され藩主の妻子が国元へ帰ることを許される事となり、九代藩主の真田幸教は義母・貞松院のため元治元年(1864)に新しく御殿を建造したのですが翌年の1月参勤交代の制度が旧に復したため、その後藩主の座も退いた幸教の隠居所として使われ昭和56年に松代城の「附けたり」として国の史跡指定を受けたとの事です。

広大な敷地の中の住居(役所付の)と庭園は質素の中にも洒落を感じさせるものが多々見受けられ往時を充分偲ぶ事が出来ました。

温故知新と申しまししょうか何度立ち寄ってもその都度歴史の新しい知識を得られる事が有難く感じられる訳ではありますが、この先も機会ある毎に四季折々に姿を変える庭園等も観賞したいと思えます。今回の企画をして頂いた先生方には誠に有り難うございました。



# 平成26年度 東京地区予選を終えて

事務総局事業委員  
東京コンクール担当  
谷口 松峰



気合十分！ 熱吟です



厳かな会場の雰囲気



審査委員の先生方

平成26年5月25日に府中市民会館に於いて開催致しました。

参加者は280名に開催案内を致しました中で62名の出場者が有りました。

今年度は一段とレベルの高い予選大会となった様に感じました。各部上位入賞者の方々は、名古屋で開催の全国決勝大会に出場され入賞の栄冠を受賞されました。

東京地区関係の宗家会長先生方及び会員方々の多大なるご協力の元、無事大会の終了が出来ました事深く感謝申し上げます。

年々吟界の環境は厳しい状況であります。1名でも多くの参加を頂ける様、平成27年6月13日(土)開催に向けて準備を進めて参りますが、東京地区は弱小組織で有り、状況を考えると非常に厳しい状態であると思っております。当面はコンクールを中心に組織の再構築を目指し進めたいとの思いで有ります。



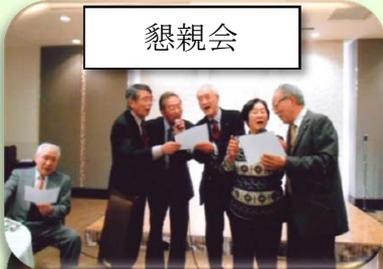
## 第五回定時総会を終えて

群馬地区事務局長  
小暮 紫風

第五回定時総会



懇親会



去る3月18日、高崎駅ビル内、ホテルメトロポリタン高崎に於いてヴォックス音楽吟詠会の第五回定時総会が開かれました。その開催に当たり、今回司会進行と云う大役を仰せ付けられました。

会議の善し悪しは司会進行の進め方により左右されるとか申しますが、皆様方の深いご理解とご支援ご協力のお陰をもちまして、無事に総会を終了する事が出来ました。心より感謝申し上げます。

さて、私事で誠に恐縮ですが、10年程前に市の「すこやか検診」で胃カメラによるガン検診を受けたところ、胃壁に潰瘍が見つかり、その後の精検でガンと云う診断が下りました。

早期発見であるとは云え、胃ガンは比較的リンパ節転移を起こしやすい部位です。その転移が無いと考えられても予防的な観点から、胃と一緒に周囲のリンパ節も郭清を伴った胃全摘手術を行うことになってしまいました。

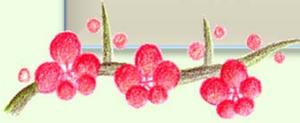
しかし詩吟をやっていた事が効を奏し、術後のリハビリに大いに役立ち、病気に負けることなく元気を取り戻しました。当時、会の長と云う立場である事、そして生徒の指導と云う責任、これらを果たすには、健康であることが第一条件。それには先ず元気な力強い声を出す事。そしてこれを叶えるには腹式呼吸が何よりも必要と思ひ懸命に努力して参りました。

その結果、声の高さも音量も以前より良くなったと周りの人から言われる様になりました。今の健康は、吟に対する前向きな姿勢と、腹式呼吸によるリハビリがもたらした賜物と言えましょう。

健康であることの有り難さを改めて実感した次第です。今後健康に一層留意し精進して行く所存です。最後に皆様方のご健勝とヴォックス音楽吟詠会の更なる繁栄を祈念し、ペンを置きます。

## 平成27年度 第六回定時総会の開催にあたって

播磨地区副本部長 事務局長：燈本 賀求道



播磨地区は、ヴォックス音楽吟詠会に平成4年に参画して現在に至っています。全国各地に於いて行われてきた総本部の総会に毎年参列させて頂いて、全国各地の諸先生方と親しくさせて頂いていることは、此の上ない幸せです。

平成27年の総会を、播磨地区で催すこととなりました今回、果たして先輩各地区の行事運営と同じレベルで遂行させて頂けるかとやや心配。決勝大会や名流大会。そして総会后各地の有名史蹟を案内して頂き、とりわけ中国や欧州での海外公演で、そのあとの観光地巡りでは、多くの諸先生達と親族以上に親しく頂き、最高の人生を味あわせて頂いて感謝の気持ちで一杯です。

世界の文化遺産国宝姫路城のある当地区での総会に、観光をひっかきたいと思って計画しかけましたが、毎年の総会日設定とかけ離れていましたので、提案をはずされました。

姫路城は明治時代に、又昭和30年代に改装され、今回平成の大改装を5年かけて今春3月完成します。3月27日より登閣が許されます。随時見学されることをお奨めします。

平成26年の大会で、当地区福井幸子が文部科学大臣賞を頂戴しました。播磨地区は、過去8名戴きました。出場者の活躍を賞ずると共に、ヴォックス全体のレベルアップを祈念しています。

1. 日時:平成27年3月18日(水)  
13:00時～受付開始  
14:00時～総会開会  
16:00時～懇親会開宴  
18:00時～懇親会閉宴
2. 場所:(株)姫路キャッスルホテル
3. 住所:〒670-0940  
姫路市三左衛門堀西の町210
4. 電話:079-284-3311  
FAX:079-284-3729
5. 費用:宿泊者の方 15,000円  
日帰りの方 10,000円

## 全国地区本部長会議が開催されました



平成26年10月24日(金)、ナゴヤクラウンホテルにて、全国地区本部長会議が開催されました。

草薙典龍会長、小芝誠範事務総長ほか、各地区本部長及び事務総局スタッフが参集し、ヴォックス音楽吟詠会の今後の運営などについて熱心に討議しました。



## 平成27年度 吟詠コンクール 課題吟



吟題	作者
1. 貧交行	杜 甫
2. 青葉の笛	松口月城
3. 城山	西 道僊
4. 金州城	乃木希典
5. 中庸	元田東野
6. 静夜思	李 白
7. 汪倫に贈る	李 白
8. 早に白帝城を発す	李 白
9. 楓橋夜泊	張 継
10. 後夜仏法僧鳥を聞く	空 海
11. 感有り	山崎闇斎
12. 易水送別	駱 賓 王
13. 和歌・俳句	※自作・新体詩を除く



## 平成27年度 第三十六回全国決勝大会



平成27年 9月27日(日)  
中部地区担当 場所：名古屋市教育センター(予定)



## CD発売



平成27年度吟詠コンクール課題吟詠  
平成26年度全国決勝大会 優勝者及び  
準優勝者吟詠(第一部、第二部除く)¥3,000  
お買い求めは・各地区本部事務局へ



## 中部地区：事務総局だより



河村市長(左)から感謝状を受取る草薙先生(右)。



平成26年12月20日(土)午前10時より、熱田区の大同保健会館において、中部地区本部の忘年会が開かれました。草薙典龍先生、小芝誠範先生はじめ、総勢26名が出席し、吟舞発表、そして昼食会と楽しいひとときを過ごしました。(写真上2枚)

註記：草薙典龍先生が今期熱田ライオンズクラブの会長として七里の渡し公園に松尾芭蕉の看板を建てられました。名古屋市長から感謝状をいただき、地元新聞にも記事が掲載されました。(写真左)  
※広報委員会では各地区だよりを募集しております。お知らせ下さい。